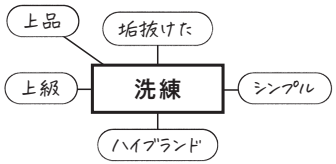
イメージを広げる
アイデアツリーの使い方、教えます

『アイデアツリー』とは、頭の中で考えているイメージをキーワードとして
書き出すことで、イメージの整理やアイデアを出しやすくするものです。
言葉から出発するデザインを着地点へ導くツール です。

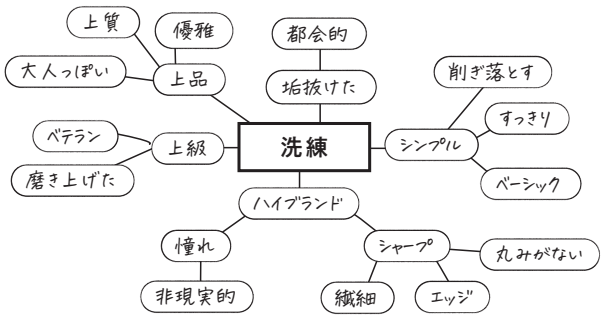
STEP
01 思い浮かんだキーワードを分岐させる

真ん中にデザインのテーマとなるキーワードを置き、
周りにテーマから連想したキーワードを放射状に広
げていきます。
例えば、「洗練」→「垢抜けた」と言葉の連想をつ
なげます。



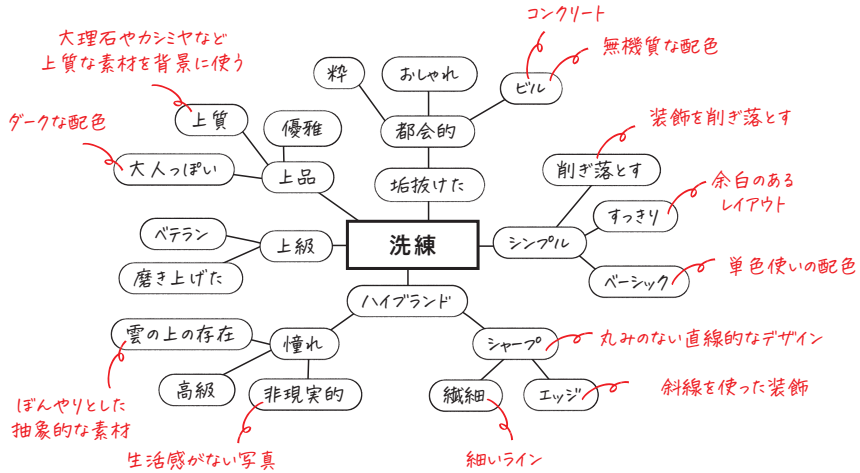
STEP
02 思いつくまま枝を伸ばしていく

思いつくままにキーワードを出していきましょう。意味の同じ類義語でも構いません。
キーワード数を制限する必要はありません。言葉のニュアンスの違いでイメージはより広がります。



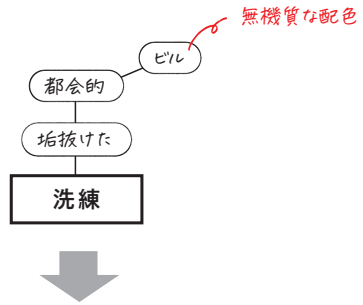
STEP
03 キーワードをデザインに落とし込む

デザインの具体的な要素や手法に展開できそうなキーワードへ変換していきます。

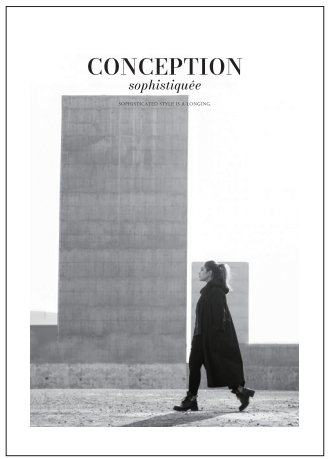


STEP
04 イメージが固まってきたら、デザインしてみる

デザインに展開できそうなキーワードをビジュアルに変換していきます。



・ビルやコンクリートなどが被写体の
無機質な写真を選ぶ
・モノトーンで無機質な配色に



Guide to reading this book

本書の読み方ガイド

42 のメイン頻出キーワードと182のサブキーワードを掛け合わせた
“イメージキーワード辞典”として、デザインの“今すぐひらめきたい”に応えます。

1st Page

メインキーワード
デザインのコンセプトとなるキーワードやテーマです。デザインの現場で頻出するワードを集めています。

メインキーワードのデータ
言葉の意味や使用例を掲載しています。イメージを広げるキーワードツリーは、著者のアイデア例を紹介しています。

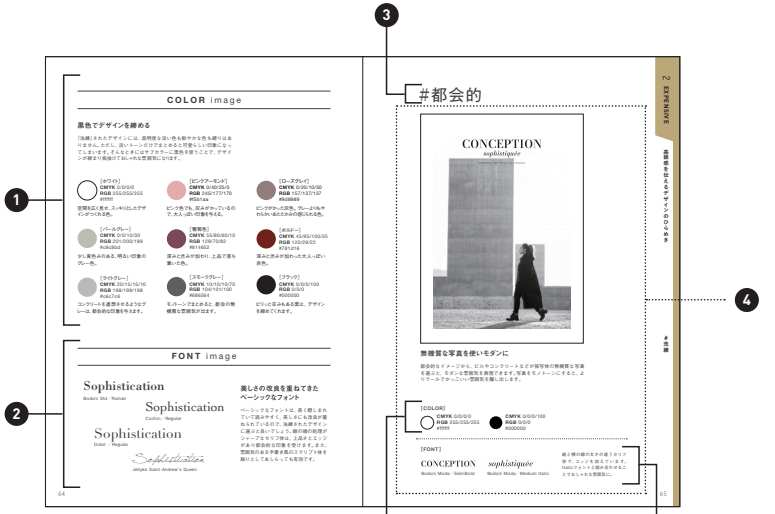
2nd Page

1 配色のポイント
メインキーワードをテーマとした配色のロジックや色選びのポイントをまとめています。
色の数値はCMYK、RGB、Webカラーコードの数値付きなので、そのまま指定できます。

2 フォントの選び方のポイント
メインキーワードにマッチするフォントのポイントを解説しています。
和文・欧文の具体的なフォントも紹介しています。

3 サブキーワード
メインキーワードからイメージを広げた副次的なキーワードです。

4 作例のポイント解説
メインキーワードから派生したテーマの作例。
ビジュアル素材や配色、フォントの選び方のポイントを解説しています。



作例で使用しているカラーデータ

作例で使用しているフォントの紹介

注意事項

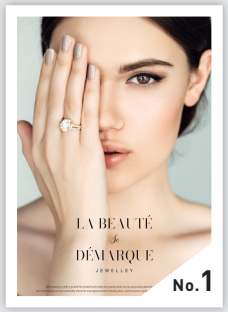
■本書で紹介する作例は、本書オリジナルのものです。登場する団体名などは、実在するものと一切関係ありません。
■本書で紹介するフォントには有料のものや、ライセンス契約を結ばないと使用できないものが含まれています。
　所有していないフォントの場合は解説の内容をよく確認し、類似フォントで代用してもよいでしょう。
■色のデータはAdobe Photoshopの値を掲載していますが、一部のWebカラーコードはAdobeの数値と異なります。

■本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。本書の運用については、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について、技術評論社および著者はいかなる責任も負いかねます。
■以上の注意事項をご承諾いただいた上で本書をご利用願います。これらの注意事項をお読みいただかずに、お問い合わせいただいても、技術評論社および著者は対処しかねます。あらかじめご承知おきください。

Contents 目次

PART 1 “らしさ”を訴求するデザインのひらめき IDENTITY

No.01 ／ No.07



エレガント P.20

クール P.26

スポーティ P.32

ガーリー P.38

フェミニン P.44

色っぽ P.50

個性的 P.56

PART 2 高級感を伝えるデザインのひらめき EXPENSIVE

No.08 ／ No.15

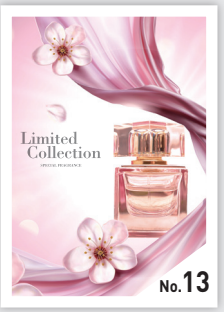
洗練 P.62

知的 P.68

信頼感 P.74

フォーマル P.78

シック P.82



華やか P.88

ラグジュアリー P.94

ゴージャス P.100

PART 3　親しみ感のあるデザインのひらめき FRIENDLY

No.16 ／ No.22

カジュアル P.106

お得感 P.112

ポップ P.118

シンプル P.124

安心感 P.130

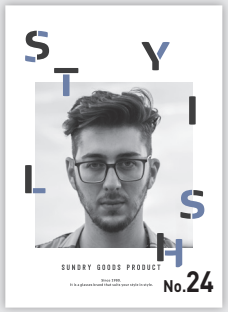
ふんわり P.136

ほっこり P.140

PART 4　エコなデザインのひらめき SUSTAINABILITY

No.23 ／ No.28

ナチュラル P.146



スタイリッシュ P.152

清潔感 P.158

ヘルシー P.162

フレッシュ P.168

エコロジカル P.172

Design基本ルール

温度を感じる色、重さを感じる色 …… 31
フォントファミリーとは …… 37
レイアウトスペースについて …… 49
グリッドレイアウトを活用する …… 73
シンメトリーレイアウトのポイント …… 87
カラートーンを意識する …… 93
カラー比率を意識する、3色以上を使う場合の比率 … 123
欧文フォントについて …… 135
文字の表現方法 …… 143
膨張色と収縮色、進出色と後退色 …… 157
逆三角形のレイアウト、ジャンプ率を高める …… 195
補色と反対色 …… 201
余白による強調効果 …… 223
人工的な配色にするには …… 237
二分割構図、トンネル構図 …… 249

PART 5 感情を表現するデザインのひらめき EMOTIONAL

No.29
／
No.35

ロマンティック P.178

好奇心 P.184

躍動感 P.190

インパクト P.196

ハッピー P.202

静けさ P.208

恐怖 P.212

PART 6 時代感が伝わるデザインのひらめき GENERATION

No.36
／
No.42

トラディショナル P.218

オーソドックス P.224

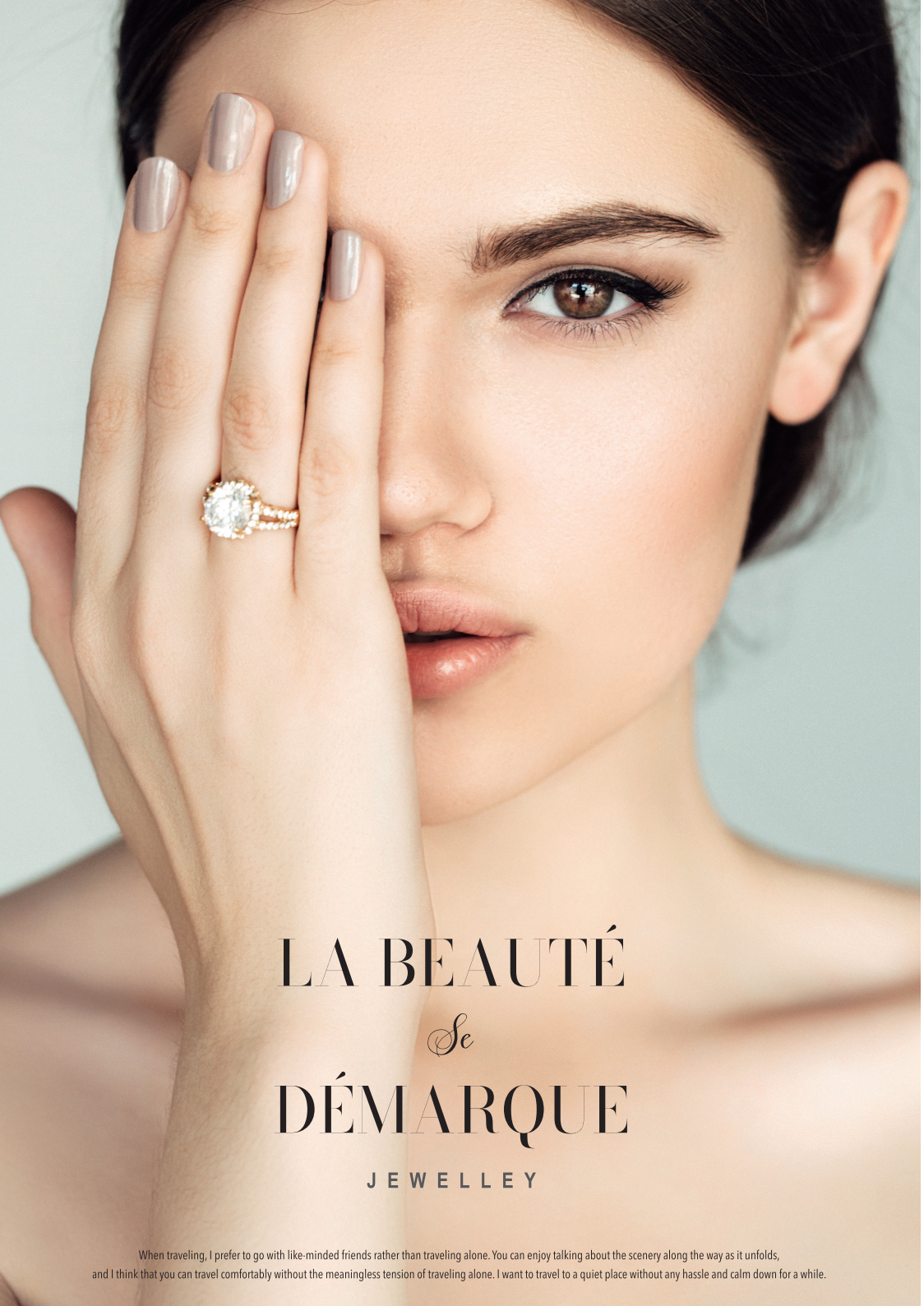
トレンディ P.228

フューチャー P.232

大正ロマン P.238

昭和レトロ P.244

80-90'sレトロ P.250



No.1 エレガント

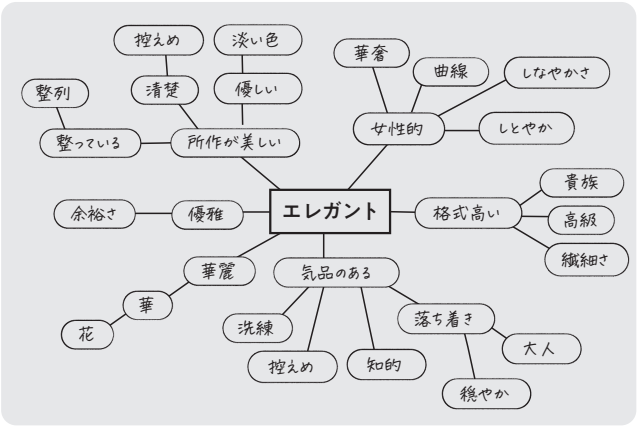
可愛らしさを抑え、落ち着いた大人の上品な雰囲気が感じられるデザインが『エレガント』です。所作や外見の美しさだけではなく、内面からの美しさも感じられるイメージにするには、細部までこだわり、繊細に表現していく必要があります。

DATA

【 意味 】
優雅で上品、落ち着いて気品にあふれているさま。

【 キーワード使用例 】
エレガントな仕草、エレガントな絵画

【 キーワードツリー 】
（例）



COLOR image

落ち着きのある色を全面に使う

上品で落ち着いたイメージが強い『シック』に、鮮やかな配色はNGです。彩度の低い、派手でない落ち着きのある色を全面に使うと良いでしょう。色数は1〜3色以内に抑え、ベースの色よりも明るい色をワンポイントで使えば、垢抜けたデザインに仕上がります。

［サックスブルー］
CMYK 60/0/10/40
RGB 60/140/162
#3c8ca2

藍染のような渋くて、冷静で落ち着きのある青色。

［パールグレー］
CMYK 0/0/10/30
RGB 201/200/189
#c9c8bd

真珠の色合いのような、輝きをやや感じる明るい灰色。

［ホワイト］
CMYK 0/0/0/0
RGB 255/255/255
#ffffff

クリアで軽快、すっきりとしたイメージの色。

［ゴールド］
CMYK 30/35/100/6
RGB 186/157/8
#ba9d08

クラシックで高級感のある印象の色。

［ボルドー］
CMYK 45/95/100/35
RGB 120/29/22
#781d16

赤ワインのような渋くて茶色に近い暗い赤色。

［黒茶］
CMYK 35/50/100/60
RGB 96/70/0
#604600

落ち着きのある黒みがかった茶色。

［ネイビーブルー］
CMYK 95/90/50/20
RGB 31/47/84
#1f2f54

安定、平静、落ち着きのあるネイビブルー。

［藤色］
CMYK 50/50/0/0
RGB 143/130/188
#8f82bc

藤の花をイメージするような、上品でしとやかな紫色。

［漆黒］
CMYK 30/20/20/100
RGB 19/9/11
#13090b

重厚でシャープな印象を持つ色。色の面積が多いと重く感じる。

FONT image

Chic
Palatino ／Regular

Chic
Didot／Regular

Chic
Baskerville／Regular

シック
秀英明朝／M

シック
リュウミン／R-KL

繊細さのあるフォントを使う

ウエイトは太すぎず、繊細さのあるゆったりとしたフォントを選ぶと良いでしょう。凛とした佇まいのフォントには、品格を感じます。「上品」というイメージから、明朝体やスクリプト体との相性が良いですが、ゴシック体やサンセリフ体もデザインによってはうまくはまります。その場合は、力強く太いものよりも細く繊細なフォントを選びましょう。

#大人

重厚感のある配色で大人の雰囲気を出す

写真を中央に配置し、上下に重厚感のあるネイビーブルーを挟むことで、安定感のあるレイアウトにしています。ネイビーブルーもグラデーションによって濃淡をつけて、リッチで奥深い雰囲気を表現しています。また、全体的に明朝体のフォントを使い、字間をゆったり組むことで、優雅な雰囲気を出しています。

［COLOR］

CMYK 90/90/30/10
RGB 51/50/110
#33326e

CMYK 0/0/0/0
RGB 255/255/255
#ffffff

［FONT］

MODERN
Baskerville／Regular

暮らしから生まれる新しい感性
無骨さを感じさせる佇まいの中に
A1明朝

クセのない、バランスの取れたセリフ体は、品格のある佇まいです。

#大衆向け

[COLOR]

CMYK 0/0/0/0
RGB 255/255/255
#ffffff

CMYK 0/0/0/100
RGB 0/0/0
#000000

CMYK 10/85/0/0
RGB 216/65/145
#d84191

CMYK 25/0/15/0
RGB 201/230/224
#c9e6e0

[FONT]

POP DESIGN

Typo Round Bold Demo

ポップを代表するものをイメージしてみる

大衆向けと言えば漫画や雑誌、映画などを連想するでしょう。そこで漫画や雑誌のパロディ風にデザインすることで、ぐっとポップなイメージになります。ポップアートやアメコミのようなテイストにすると、デザインに力強さが加わるでしょう。

#アクティブ

[COLOR]

CMYK 0/0/0/0
RGB 255/255/255
#ffffff

CMYK 0/0/0/100
RGB 0/0/0
#000000

[FONT]

DESIGN

Futura PT／Demi

大胆に大きく配置してみる

テキストをデザイン領域からはみ出るくらい大胆に大きく配置することで、元気でアクティブなイメージになります。また斜めに配置することで勢いが感じられ、より活発な印象を与えます。力強いフォントを選ぶことで、フチ文字にしても軽さが出て、視認性の高い元気な印象を残すことができます。

#カラフル

[COLOR]

CMYK 70/0/80/25
RGB 51/149/77
#33954d

CMYK 0/50/100/0
RGB 243/152/0
#f39800

CMYK 0/0/100/0
RGB 255/241/0
#fff100

CMYK 0/45/20/0
RGB 243/167/172
#f3a7ac

[FONT]

POP DESIGN

Core Circus ／Regular

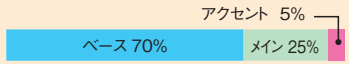
明るく眩しい色を多く使う

鮮やかな色を多く使い、楽しげで明るいイメージに仕上げています。雑然としないように、彩度や明度がなるべく近い色を選ぶと、デザインに統一感が感じられます。また、ストライプなど単純で太ぶりな柄を使うことで大胆で元気な印象になり、よりポップさを表現しています。

Design基本ルール

カラー比率を意識する

配色をする際に、ベース：メイン：アクセント＝7：2.5：0.5ほどの割合を意識して使用すると、アクセントが効果的になります。ベースカラーは背景などもっとも大きな面積を占める色のことをいいます。メインカラーはテーマになる色のことで、デザインの印象を決めるキーカラーとなります。アクセントカラーはワンポイントで使用しもっとも注目を集めることを目的とした色のことを指します。



3色以上を使う場合の比率

3色以上の色を使いたい場合は、メインカラーやアクセントカラーを分割しましょう。ベースカラーの割合を変えてしまうとバランスが取りにくくなってしまうので、そのままにしておくのが良いでしょう。分割する色は、同じトーンや同系のものを選ぶと、バランスの取れた配色になります。